



学校だより

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で

令和8年7月号

横浜市立谷本小学校

「やってみよう 自分から」～自分で決める力を育てる～

校長 阿部一平

本校では、「やってみよう 自分から」を学校教育目標の一つに掲げています。この言葉には、子どもたちに、ただ進んで行動するだけでなく、自分で考え、選び、決めることを大切にしてほしいという思いも込められています。

先日、教職員にも、子どもたちが“決める”場面を意図的につくっていくことの大切さについて話をしました。「子どもが主語」の学びは、これから特に大切にしていきたい視点です。

本校では、日々の授業の中でその考えを実践している先生たちがたくさんいます。単元のおおまかな流れを示しつつ、「自分で決める」場面を意図的に取り入れることで、子どもたちは最後まで粘り強く取り組むようになります。私たち大人も、自分で選んだことには自然と関心が高まりますよね。

子どもたちは日々の生活の中で、「どうしようかな」「どちらにしようかな」と迷いながら、小さな選択を積み重ねています。友達への声のかけ方や係活動の進め方、学び方など、何気ない一つ一つの場面が、自分で決める力を育む大切な機会となっています。

そして、自分で決めたことだからこそ、「やってみよう」という気持ちが自然と生まれます。思うようにいかないときも、「自分で選んだこと」であれば、「次はどうしよう」と前向きに考える力へとつながっていきます。

まもなく夏休みを迎えます。学校ではこれからも、子どもたちが自分で考え、一歩を踏み出す経験を大切にしていきます。ご家庭でも、お子さんが迷っているときには、「こうしたらいいよ」と答えを示すだけでなく、「あなたは どうしたい?」と気持ちに耳を傾けていただければ幸いです。その一言が、子どもたちの自信や意欲をやさしく育てていくことと思います。